金属プレス研修塾　神戸製鋼所見学

日　　時　：　令和 7 年（2025 年）11 月 21 日（金）　14:00 ～ 16:00
訪 問 先　：　株式会社神戸製鋼所　加古川製鉄所　（兵庫県加古川市金沢町 1）
内　　容　：　挨拶、DVD 鑑賞、見学（原料ヤード、高炉、熱延など）、応接で質疑応答など
参 加 者　：　15 名（塾生 11 名 、他 4 名）

金属プレス研修塾は、1 年間（計 6 回）の研修を通じて塾生を募集し、金属プレス製品が出来るまでの過程（①製鉄所→②コイルセンター→③金型製作→④プレス製品製作）を学び、同時に塾生同士の交流を図る目的で令和 5 年（2023 年）から開始して今年は 3 年目（第 3 期生）となります。

9 月の開塾式に続いて今回は鉄鋼材料の製造工程を学び、研鑽を高めため、㈱神戸製鋼所　加古川製鉄所を訪問しました。

㈱神戸製鋼所は今年創業 120 周年を迎える、鉄鋼業界のリーディングカンパニーであり、そのマザー工場である加古川製鉄所は、1970 年（昭和 45 年）8 月に高炉の操業を開始した、鉄鋼一貫体制の神戸製鋼所最大の製鉄所です。

転炉

JR 加古川駅から送迎バスに乗り、海岸方面に南下すること 30 分弱で加古川製鉄所へ到着。最初にお互いの名刺交換、次に紹介 DVD 鑑賞、そして見学に出発です。まず、原料ヤードから始まり、廃炉予定の第一高炉も含め、3 つの高炉を見学しました。高炉では鉄鉱石や石炭を入れて反応させ銑鉄（溶けた鉄）が作られます。次に訪れた製鋼設備の工場では、貴重な転炉（大量の酸素を吹き込んで炭素成分を取り除いて強靭な鋼を作る工程）の作業を見ることができ、SF 映画さながらの光景に塾生一同驚嘆の声を上げていました。（一見の価値あり！）その後は高炉から出た熱い鋼は、厚板工場等に運ばれます。厚板工場では長いローラー上を何度も往復しながら 徐々に薄く延ばされてオーダーされた厚みに加工されます。人ひとりいない工場で機械だけがリズムよく、黙々と製品を製造する姿に感動すら覚えました。

厚板圧延機

バスの車内や工場施設では、神戸製鋼所の従業員の方の、丁寧かつユーモアある説明でグッと製鉄所の魅力に引かれ、見学後の質疑応答の場ではたくさんの質問もあり、製鉄への理解が深まったことと思います。塾生の皆さんからも、日ごろ立ち入ることのできない製鉄所の内部を見学出来て、大変良かったとの声が多く聞かれました。

記念撮影

※この紙面の「転炉」「厚板圧延機」の写真は
㈱神戸製鋼所加古川工場様のカタログから
転載しており、掲載の許可を得ています